

国保税値上げ中止求める署名、第一次分を市に提出 短期間に4900筆。署名はこれからが本番

「上越市の国保をよくする会」（関口壮六代表）が結成され、「一般会計からの特別繰り入れで値上げの中止を」との署名運動が本格化したのは先月下旬のことです。それからわずか2週間ほどで約4千900筆の署名が集まりました。

8日、「国保をよくする会」はこの署名を持って市側に改めて値上げ中止を求める申し入れを行いました（写真）。この申し入れには、関口代表のほか、新婦人、年金者組合、民主商工会などの代表、そして党市議団から杉本団長、橋爪市議が参加しました。また、日本共産党上越地区委員会の平良木哲也「子育て・暮らし」相談室長も参加しました。

参加者からは、「寄せられた署名の中には一枚の署名用紙に2人だけのものがたくさんある。お年寄り夫婦と思われるが、年金暮らしの人たちにとっては国保税値上げは重い。やめてほしい」「灯油やガソリンを購入するにあたって、満タンでなくいくらかまでと節約する人が増えてきている。社会保障の立場で一般会計からの繰り入れをぜひお願いしたい」などの要請が続きました。

応対した村山秀幸副市長は、国保加入者の負担増を理解してほしいとのべる一方で、激変緩和措置として一定の一般会計からの繰り入れで負担軽減に努めたい」と回答しました。

「国保をよくする会」ではこの間、医師会や薬剤師会、労働団体などに国保署名運動への協力を要請しています。これらのなかには前向きに検討したいとされているところも出てきており、運動は広がっていくことでしょう。署名は今回が第一次分で、第二次、第三次と、一定の数になり次第、市に提出していくとことです。党市議団はこの運動の最前線で頑張ります。

国保税、3年間で約40%の値上げ計画 一般会計から法定外繰り入れ、08年度から2年間

上越市は8日、国民健康保険運営協議会に、国保税の税率改正（案）の諮問を行い、同日、原案承認という答申を受けました。

市が示した税率改正（案）は、段階的な値上げでした。08年度の国保税を15.7%値上げし、1人あたり年額77,854円とする。09年度はさらに10.1%上げて年額85,739円とする。10年度は09年度に再度見直す（調定見込みとしては、9.5%上げて年額93,896円）。注目の一般会計からの特別繰り入れについては、上越市として初めて繰り入れることになりました。その額は2か年間で10億5,000万円です。また、応能割合と応益割合の比率は、52.75対47.25で低所得者層への負担軽減措置がとられました。

今回の税率改正（案）は、一般会計からの特別繰り入れや低所得者の負担軽減にむけた努力などがされており、これらの点は評価できるものです。しかし、3か年で26,596円（07年度比39.5%増）という値上げ

は、いまでさえ支払いの限度を超えているなかで、あまりにも重いものです。自営業者などからは、「これでは暮していけない」と悲鳴があがっています。党市議団は国保をよくする会などと連携して頑張ります。

【平成20年度】（ ）の数値は平成19の医療給付費分との比較

- 所得割率 8.36% (+ 1.11%)
- 均等割額 26,800円 (+8,800円)
- 平等割額 23,100円 (△2,900円)
- 1人あたり
調定額（年額）77,854円 (+10,546円・15.7%)

【平成20年度】（ ）の数値は平成20の医療給付費分との比較

- 所得割率 9.43% (+ 1.11%)
- 均等割額 29,400円 (+2,600円)
- 平等割額 25,200円 (△2,100円)
- 1人あたり
調定額（年額）85,739円 (+7,885円・10.1%)



タマツバキ



日本共産党上越市議員団ニュース

No.125 2008年2月17日

連絡先 杉本敏宏 524-3787 (東本町5)
 樋口良子 544-6802 (中門前3)
 橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)
 事務局長 上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)